

シンポジウム

スピリチュアルケアと宗教者/非宗教者

2023年10月28日(土) 14:40-17:50 司会 奥山倫明 東洋英和女学院大学教授
死生学研究所所長

発題1

中井珠恵

なかいたまえ

愛染橋病院/協立記念病院
チャプレン

医療現場における チャプレンの宗教性とは

内容紹介：

現在、スピリチュアルケアは多職種で行われていますが、その担い手の一つのチャプレンとして医療に従事しています。非宗教者の多い現場では、宗教行為を求められることは多くありませんが、それでもチャプレンに求められているものがあるとするならば、それは何なのでしょう。そこに宗教性は含まれるのでしょうか。日頃の働きを振り返ることで一つの考察を試みます。

■プロフィール

Graduate Theological Union 修了(MA)、聖学院大学大学院アメリカヨーロッパ文化研究科博士課程修了(学術博士)。大津市民病院、愛知国際病院、市立川西病院、はえの往診クリニックにて勤務。現在、協立記念病院、愛染橋病院にて勤務。上智大学グリーンケア研究所人材養成講座非常勤講師、京都市文教大学大学院非常勤講師。

■主要業績

『スピリチュアルケア 入門篇』(2022年 ヨベル出版)、『緩和ケアにおけるスピリチュアルケア入門-ファウラーの信仰発達理論を手がかりに』(2019年 かんよう出版)などがある。

発題2

山本佳世子

やまもとかよこ

天理大学
医療学部准教授

非宗教者によるスピリチュアルケア

内容紹介：

欧米で始まったスピリチュアルケアは、宗教者がその担い手の中心です。一方で、日本でもスピリチュアルケア提供者の養成及び資格認定が始まっていますが、その担い手は必ずしも宗教者ばかりではありません。非宗教者によるスピリチュアルケアとはどのようなものなのでしょう。信仰なくしていかに患者のスピリチュアリティに関わることができるのでしょうか。非宗教者としてスピリチュアルケアの実践、教育、研究に携わる立場から、スピリチュアルケアと宗教、非宗教の関係について検討します。

■プロフィール

京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了。専門は死生学(スピリチュアルケア、グリーンケア、生命倫理、生と死の教育等)。スピリチュアルケアの実践、教育、研究に携わる。近年は、スピリチュアルケアやグリーンケアから垣間見える日本人の「無宗教」的死生観に関心を持っている。

■主要業績

編著書に『宗教者は病院で何ができるのか』(勁草書房、2022年)、『悲嘆の中にある人に心を寄せて』(上智大学出版、2014年)、訳書に『愛する者の死にどう向き合うか』(晃洋書房、2009年)、共著に『〈悲嘆〉と向き合い、ケアする社会をめざして』(平凡社、2013年)、『グリーンケア入門』(勁草書房、2012年)などがある。

コメンテーター

堀江宗正(東京大学教授/死生学・応用倫理センター長)

和田信(大阪国際がんセンター心療・緩和科部長)

□オンライン開催

- お申込みは死生学研究所HPから
- お申込み締め切り 10月25日(水) 17時
- 先着100名様 □参加費 無料
- お問合せ 死生学研究所
shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

お申込み



<予告>

◆第6回〈公開〉連続講座11月11日(土) 16:20~17:50 山田千香子(聖徳大学 心理・福祉学部教授)